

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 学校・家庭・地域連携協力推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111 (内 3573)

E-mail： c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

488 千円 (前年度予算額：494 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	494	164	0	0	0	0	0	0	330
要求額	488	162	0	0	0	0	0	0	326
決定額	488	162	0	0	0	0	0	0	326

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。

(2) 事業内容

地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの総合的な在り方の検討を行うため、有識者による推進委員会を開催するとともに、地域住民の参画による放課後等の学習支援・体験活動等が安全に充実して実施されるよう、従事者等を対象とした研修会を開催。

○推進委員会

放課後対策や地域と学校の協働のあり方、事業の実施体制、研修会の内容等について有識者の意見を聴くための推進委員会を年間2回開催(委員13名)。

○従事者研修会

事業従事者を対象に安全管理を中心とした研修を開催(県内3会場)。

○市町村担当者研修会

取組実績を共有し事業の充実を図るための研修会を開催(年1回)。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 3 県 2 / 3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	168	推進委員・研修会講師等謝金
旅費	169	推進委員・研修会講師・実践発表者等旅費
需用費	61	推進委員会・研修会資料等印刷、事務用品
役務費	50	郵便代・電話代
使用料	40	研修会会場使用料
合計	488	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○創生総合戦略 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(1) 未来を支える人 ⑤ 学校教育と社会教育との連携

○教育ビジョン 基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

(28) 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進

(2) 国・他県の状況

放課後子ども教室については、放課後児童クラブと一体的に行う「放課後子ども総合プラン」とともに、学校を核とした地域力強化の仕組みづくりを行う「学校を核とした地域力強化プラン」を推進。

(3) 後年度の財政負担

市町村の実施に合わせて、必要な経費を補助。

(4) 事業主体及びその妥当性

国の補助事業であり、地域学校協働活動の推進や、安全で質の高い事業運営のためには妥当。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

放課後や週末等に、子どもたちが安全で充実した体験や学習活動ができるよう、従事者研修会、市町村担当者研修会を実施し、関係者の資質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
従事者研修会参加者数（3会場）		323人 (H29)	287人 (H30)	226人 (R1)	500人 (R3)	45.2%
市町村担当者研修会参加者数		38人 (H29)	49人 (H30)	37人 (R1)	70人 (R3)	52.8%

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）地域と学校の連携・協働体制構築事業等推進委員会の開催

内容：地域学校協働活動、コミュニティ・スクール、放課児童健全育成事業の総合的な在り方の検討を行う

時期：令和2年7月21日・令和3年1月26日

（2）地域と学校の連携・協働体制構築事業市町村担当者研修会の開催

内容：実践発表

時期：令和2年10月5日 中濃総合庁舎にて開催

（3）地域と学校の連携・協働体制構築事業従事者研修会の開催

内容：子ども理解、安全管理

時期：令和2年10月14日、23日、30日開催

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

放課後や週末等の安全・安心な子どもの居場所づくりや、子どもの学習習慣定着のための体制づくりに貢献することができた。また研修会開催により、市町村担当者や従事者の資質の向上が図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	放課後や土曜日等の子どもの体験や学習活動を充実させるため、安全で質の高い事業運営を目的とした研修会等の実施は必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	事業を実施する市町村数や教室数は増加傾向である。従事者等を対象とした研修会については、推進委員会において有識者からの意見を聴きながらその内容を検討しており、質の高い事業運営が図られるよう努めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	前年度に実施した研修会のアンケート結果等をもとに、学識経験者を含む推進委員会で、事業の総合的な在り方や事業の計画や研修会の検討、見直し等を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指すことが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>安全・安心な居場所をつくり、多様な体験を通して健全な子どもの育成を図ることを目的とした事業であり、その方法として地域全体で取り組むきわめて重要な事業であるため、今後も継続していく必要がある。中でも、地域学校協働活動の普及啓発に力を入れていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	